日本の共同研究開発パートナーを募集

つながるケア。
人生を通じて。

予測と先回りの支援を、日々の暮らしへ。本人と専門職が主導する、長期的なケア・生活支援（LTC）の事業者向け（B2B）プラットフォーム。



構想を示すイメージ。導入実績や検証済み機能を示すものではありません。

障害のある高齢者

退院・リハビリ後の暮らし、変化するニーズ、地域での継続的な支援をつなぎます。

障害のある若年成人

自立した暮らしへの移行を支え、本人の目標、意思、必要な支援を継続して共有します。

共同開発の目的

日本の応募要件を満たす企業と、AI支援機能、現場の業務・システム連携、評価方法を共同開発し、事業化の道筋を具体化します。Nightingaleは技術基盤と技術リードを担います。

変化を捉え、支援につなぐ

01 / 状況を継続して理解する

本人の同意・権限設定に基づき、医療、生活機能、社会的状況、本人の目標を共有記録にまとめます。予測モデルが変化の兆しを示し、専門職が確認します。

02 / 根拠のある選択肢を準備する

専門AIエージェントが、参照元を確認できる選択肢や支援計画案を準備します。予測モデルの性能と、生成AIの根拠・安全性は分けて評価します。

03 / 必要な提供者をつなぐ

ケア、リハビリ、生活支援などの関連事業者をつなぎ、引き継ぎと担当を明確にします。長期にわたる支援のワンストップ窓口を目指します。

04 / 実施と変化を確かめる

合意した対応、実施状況、本人の目標の変化を追跡します。判断と責任は本人と適切な専門職にあり、AIによる自律的な診断・治療を提案するものではありません。

利用者と支払者

主な業務利用者：ケア調整担当者、ソーシャルワーカー、看護師、医師、リハビリ職。本人と権限を持つ支援者も参加します。想定顧客はケア事業者と統合サービス網。委託機関、自治体、保険者は潜在的な支払者であり、契約は未確定です。

現在の成熟度

自己評価はTRL 5。基盤には対話型ワークフローの試作、合成データによるシミュレーション、エージェント実行基盤があります。統合ケア機能、予測モデル、臨床的効果は今後の開発・検証対象です。

日本で共に具体化する

補完的な役割

Nightingale / Iotera（イスラエル）：プラットフォーム設計、AI統合、エージェント基盤、技術統括。日本側企業：明確な共同R&D業務、国内の業務・システム連携、現場との調整、事業化。販売紹介のみでは、共同R&Dパートナーの役割を満たしません。

提案する共同作業

1. 本人・障害当事者が主導する団体・専門職と共同設計。
2. データ・権限・連携仕様と支援ワークフローを開発。
3. 予測モデルとAI支援を検証し、承認を得て段階的に評価。
4. 日本語・アクセシビリティ、運用負担、事業モデルを検証。

評価で確かめること

後ろ向き評価、実運用に介入しない前向き評価を経て、条件を満たす場合に支援付き利用へ進みます。予測の先行時間、較正、誤警報、集団間の性能、自立した暮らし、社会参加、引き継ぎ完了、職員の時間を確認します。

資金制度と次の協議

Globalstars Japanは共同産業R&Dの枠組みです。各国の応募資格と国内審査が必要です。日本側NEDO公募では期間2〜3年、助成率は対象経費の最大2/3、1件最大1億円。日本側締切は2027年1月20日正午（日本時間）。双方の応募資格、資金負担、知財、予算、実施場所は合意・確認が必要です。

まず30分の協議から

日本側の応募資格、共同開発する機能、現場・データへのアクセス、評価方法、費用負担と知財方針を確認しましょう。パートナー、実証先、資金採択の確約はまだありません。

contact@happyseniors.care | Iotera PIC 870176719

English website / Japanese website

Official NEDO call | Israel Innovation Authority call
Nightingale: SynaptixLabs technology initiative, with HappySeniors care-management expertise.